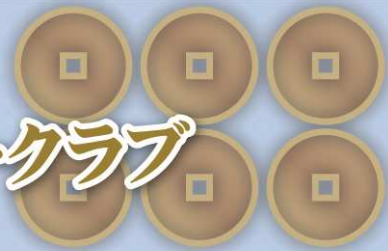




2018-19年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン

第2600地区ガバナー 伊藤 雅基

国際ロータリー第2600地区
上田六文銭ロータリークラブ
Rokumonsen Rotary Club



【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1
上田東急REIホテル 3F
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30
《例会場》上田東急REIホテル 2F
《創立》1997年2月18日

●会長 水野 泰雄 ●幹事 小嶋 修一 ●会報委員長 柄澤 堯 ●副委員長 大久保昌宏 ●委員 西澤 文登/渡邊 章貴



例会日誌

- 司 会 松澤 一志
- 開会点鐘 水野 泰雄
- 斉 唱 『我らの生業』
- 委員会報告 R財団委員会
地区財団セミナー報告
- プログラム クラブフォーラム
『会員増強について』



会長挨拶

水野 泰雄君



処暑も過ぎ、熱戦の甲子園や24時間テレビも終わり、夏休み明けの学校も始まり、いよいよ来月は9月です。長い休み明けは事故も多いので、社内はもちろん通勤途中も注意が必要です。せっかく出会った人財ですし、会社発展のためにも大切な仲間です。その人財は今や不足しています…ならば今いる社員さんを育成することも、ひとつの手段です。私の知り合いの社長さん「いい社員が入ってこない」と嘆いていました。これは、多くの中小零細企業の社長が持っておられる悩みの一つです。しかし、一方でこう言われる経営者の方もいます。「中小企業に優秀な社員が入ってくるなどとは思わない方が良い。入ってきた社員を育てるのが社長の仕事だ」。そう、素晴らしい考え方です。きっとこの会社では、社員が立派に育っているに違いありません。とはいえ、どうしたら社員がうまく育つのでしょうか。ここが大問題です。世の中では、色んな「人の育て方」が提案されています。よく言われているのが、

- ・ ほめて育てる
- ・ 叱って育てる
- ・ 自分の背中を見せて育てる

・ 自ら実行してみ育てる

といった方法です。最近では、特に「ほめる」ときに光が当たっています。そのためのセミナーや研修も盛んです。「ほめる」のが難しいからです。逆に「叱る」ことだって簡単ではありません。「怒る」ことは感情を表に出すだけです。誰でも簡単です…。ところが「育てる」のに、結構簡単な方法があります。それは「認める」という方法です。「自分が一番働いている」～人は誰でも、周囲から認めてもらいたいという気持ちをもっています。心理学用語でいうところの「承認欲求」というものです。その証拠に、世の中ではSNSが猛威をふるっています。Facebook、ツイッター、インスタグラム、YouTubeなどがこれほど盛んになっているのはなぜでしょう。それは、周囲に自分のことを認めてもらいたいからです。そのためには、過激な投稿をくりかえして、周りの気をひこうとする人だっています。ほめてもらいたいのでも、叱ってもらいたいのでもありません。自分の存在を認めてもらいたいただけなのです。でも～実は、ここに人を育てる大きなヒントがあります。例えば、社内にはこんなことを言う社員はいないでしょうか。「どうして私だけが、毎日こんなに忙しい思いをしなくちゃいけないの?」「どうして私にばかり、仕事が回ってくるの?」また、賞与をもらったときや人事が発表されたときに「私の方が会社に貢献しているのに…」「どうしてあの人の評価が高いのかわからない」と、陰でグチったりする人がいます。どうしてそんな気持ちになるのでしょうか。それは、多くの社員が「自分が一番働いている」と思っているからです。そして、そのことを「認めてくれない」という不満があるからです。ということは、その社員を認めてあげれば、少なくとも不満は解消するのではないのでしょうか。そして、それがきっかけで、やる気をもって仕事をしてくれることにもつながります。そうすれば、その社員は自然



クラブテーマ「おもてなしから始まるクラブ活動」

会報

と育っていくのではないのでしょうか。だとすれば、社員を認めてあげることです。いえ、給与を上げたり、昇進をさせるということではありません。「社員を評価する」社員が認めてほしいのは、自分の「働き」なのです。それならば、しっかりとした「働き評価法」があればどうでしょう。評価項目は、売上とか客数とか目に見えるものだけではありません。「目に見えない仕事」で、会社が大事にしていることを実行している社員を評価しようということです。この評価の仕方を、経営コンサルタントの白瀧敏朗氏が『上司のすごいしかけ』（中経出版）で詳しく紹介しています。それは、「ナンバーワン社員評価シート」を使って社員全員でお互いの評価をするというものです。社員全員で「目に見えない大切な仕事」にはどんなことがあるか考え、書きだしていきます。

例えば…

- ・ いつも明るく元気にあいさつをする
- ・ 掃除がていねいでうまい
- ・ 会議の企画や手配が的確である
- ・ 皆がいやがる雑用を引き受けてくれる
- ・ 人の話を聞くのがうまい

といったことです。出てきた内容を、全員で5~10個に絞ります。それを各自用意した評価シートに評価項目を並べ、その横に「ナンバーワン社員と思う人」を書いて全員が投票するのです。

シートを集計すれば、項目ごとのナンバーワン社員が決まります。決まれば、その社員を皆の前で表彰してあげるだけです。これで、社員は自分の働きを認められたこととなります。しかも「目に見えない大切な仕事」には、どんなものがあるかも全員で共有されるのです。

■今日のツボ■

- ・ 人は誰も周囲から認められたいという欲求がある。
- ・ 社員を認めることでやる気が出て、良い社員に育っていく。
- ・ その方法の一つに「ナンバーワン社員評価シート」がある。

「怒らない」と決めて努力して、自分自身の感情に負けないで冷静に…とは思いますが、それが瞬間的に起こると出来ないのです。

人と人との関係は難しいです…だからこそ、素晴らしいのです。



幹事報告

小嶋 修一君

1. RI より

・ コーディネーターニュース 9月号

2. 米山奨学会より



クラブテーマ「おもてなしから始まるクラブ活動」

- ・ ハイライトよねやま 221号
- ・ 米山梅吉記念館報 秋号
- ・ 米山梅吉ものがたり 記念出版のお知らせ

3. 地区事務所より

- ・ 関邦則ガバナー事務所閉鎖のお知らせ

4. AMU より

- ・ 各種イベントのご案内

恵送

1. 丸子 RC 様・・・ 会報、クラブ計画書

全会員配布物

1. 当クラブ会報 第991号
2. 会長より 『今週の言葉』
3. 8月-10月プログラム

その他

1. 今年度はローターアクト様の表敬訪問がないため、賛助金については口座の方へ送金を済ませ、古切手については東クラブ様にお預けし渡していただくこととしました。

出席・ニコニコBOX報告

吉田 穰君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	22	5	0	81.82%
前々回	23	10	5	78.26%

水野泰雄君 平成最後の夏も終わります。皆さん～素晴らしい思い出づくりはできましたか？残りわずかな夏を楽しみましょう。

中澤信敏君 ロータリー財団地区研修へ行って来ました。財団の事業も変化しつつあるようです。

柄澤 堯君	北村 久文君	小嶋 修一君
松澤 一志君	宮原 宏一君	宮澤 広一君
西澤 文登君	西澤 尚夫君	生川 秀樹君
大久保昌宏君	斉藤恵理子君	清水 一典君
田中 栄一君	吉田 穰君	



プログラム



クラブフォーラム 会員増強について
会員増強委員長 宮原宏一君より

今年度の会員増強委員会方針を発表していただきました。